

平成25年5月1日

利用学習計画書

仙台市立岡田小学校
担当 第6学年 伊藤 美穂

- 1 ねらい
体験活動、見学活動を通して縄文時代の生活に思いをはせる。
- 2 評価
体験活動、見学活動を通して縄文時代の生活に思いをはせることができたか。
- 3 学習活動について
社会科「縄文時代のくらし」
- 4 事前指導
教科書、資料集等を利用して「縄文時代」の暮らしについて知る。
- 5 当日の指導（活動）内容
 - （1）見学学習
探検シートを用いての自主研修
 - （2）体験学習
土器作り、勾玉作り体験
- 6 当日の交通手段
市営バス
- 7 事後指導
 - ・探検シートの答え合わせと補助説明
 - ・感想を書く（日記ノートに）

平成25年5月17日

利用学習報告書

仙台市立岡田小学校
担当 第6学年 伊藤 美穂

1 事後指導について

(1) 実施日

平成25年5月2日(木) 4校時

(2) 主な内容

社会科の授業で校外学習を通してわかったことや感想を記入し、発表し合う。

2 送付する資料

児童生徒の学習後の感想(一部抜粋) 6名分

児童の感想文

○A子

縄文の森広場で、私は勾玉を作りました。思ったより手が疲れて大変な作業でしたが、最後にぴかぴか光る勾玉ができたときにはとてもうれしかったです。縄文人もこんな思いをして作ったのかなと思いました。大変でもおしゃれをしたいという気持ちは、今と変わらないんだなと思いました。

○B子

縄文の森広場での土器づくりは、新しい初めての体験でした。あまり触りすぎると焼いた時に壊れてしまうという話を聞き、できるだけ触らないように気をつけました。初めはうまくいくのか不安でしたが、だんだん形ができていくうちに、とても楽しくてワクワクしていきました。焼いたものが届くのがとても楽しみです。

○C男

今の土器はろくろなどを使うけれど、昔は粘土をひものようにして根気よく作っていたんだなと思いました。見本を見せてもらったときに、お皿みたいなものや、花瓶のような形もあって、いろいろあるんだなと思いました。縄文時代の人たちも、私たちのようにいろいろな入れ物を使っていたことが分かり、勉強になりました。

○D子

「たんけんノート」を使って、展示されているものを見ました。難しいところもあったけれど、友達と協力しながらがんばって探しました。縄文時代の家の中を見て、中にあるものは違っていても、家族で仲良く協力しているところは今と同じだなと思いました。

○E男

縄文の森広場でたて穴住居に入ってみると、温かくて、独特のにおいがしました。外は明るいのには、住居の中は暗かったから、夜になるともっと暗いんだろうなと思いました。でも、自分たちの近くで、縄文時代の人たちがふつうにくらしていたんだと思うと不思議な気がしました。

○F男

学校の社会で習ったことが、見たり体験したりすることでよく分かりました。いろいろ教えてくださってありがとうございました。